

地教連ニュース

2003-5-17

事務局 エルムアカデミー 〒142-0053 品川区中延 5-6-14-2f
03-3784-5676 Fax03-3784-5609 elm@kiwi.ne.jp
Yzwhiro@m78.com (矢沢：地教連事務局担当)
地教連ホームページ [hppt://www.tamagaku.com/chikyoren](http://www.tamagaku.com/chikyoren)

2003 年度総会の延期について

常任委員会では 2003 年度の総会を来年 2004 年 5 月に延期することを提案します。

延期の理由：地教連が結成されて13年を経た今、教育情勢が当時と現在で大きく変貌しています。特にここ数年の教育情勢は急進展を遂げています。そのために、地教連の組織改編も視野に入れて、地教連の役割を再定義し、活動の方向性を整理していく必要に迫られていると考えているからです。

一年という時間をかけて、今後の中長期的な地教連のあるべき方向を探りたいと考えています。特に、常任委員会では十分に時間を取り、現在の教育情勢の分析を軸にしながら地教連の組織の在り方や活動の在り方を検討していきたいと思っています。

また同時に、並行して常任委員会の論議を公開し、全国の会員からの意見も募り、反映して十分論議を尽くしたものにしていきたいと考えています。

現在、方向性として考えられるものは以下のものです。

- ・ 連絡会として教育 N P O などの情報交換：教育 N P O やチャータースクール・N P O 学校などの可能性について調査・研究する
- ・ 連絡会として小規模零細塾の情報交換：地域的な交流、相互援助
- ・ 研究会としての教科教育、進路教育、特別教育などの研究

ここ数年間の地教連活動の特徴をいくつかあげておきます。

- ・ 地教連会員の減少・脱退（転廃業含む）
- ・ 学習会などの企画での参加者数の減少（参加者の幅も狭まっている）
- ・ ホームページやニュース発行などの情報更新の停滞
- ・ 会員から事務局へのメッセージ発信が少ない。
- ・ 地方からは期待が寄せられている（岐阜・静岡）
- ・ 教育 N P O、フリースクールやスペースの全国的な連絡組織が求められている。
- ・ 教職員組合運動などでの路線の対立の影響で総合学習へのスタンスが確立できていない。
- ・ LD や A D H D などの特別なニーズの子どもの入塾などの増加に伴い、特別教育の専門性の確立が求められている。

ぜひ、会員の皆様、ご意見を常任委員会、事務局までお寄せ下さい。

「特別なニーズの子どもたちに算数の基礎を教える」学習会のお知らせ

日時：6月1日（日） 午後1時30分から午後4時まで

場所：品川区立中小企業センター3階中会議室（大井町線下神明駅下車1分）

講師：松井幹夫さん（数教協研究局員、元自由の森学園長）

会費：地教連会員は無料、会員外は500円。（学生は無料です）

地教連参加の塾の多くで、学習障害などの特別なニーズを持った子どもたちの割合が増えています。そのような子どもたちに算数の基礎を教えることは大変難しい課題です。特に数の認識を教えることは、重要な課題でもあります。水道方式の実践者で、障害児の算数教育にも詳しい松井さんに「数の初歩をどのように教えていけば良いのか」「加減乗除のわかりやすい教え方は」「算数でつまづいた子どもの対処法は」など、明日から使える実践を、時間を取ってじっくりと教えていただきます。算数・数学教育で行き詰まっていることなどあれば、事前にお知らせ下さい。講師に伝え、当日の話に盛り込んでいきたいと思っています。ぜひ、ふるってご参加ください。

講師の松井さん：ホームページのご紹介

<http://www001.upp.so-net.ne.jp/mikkii/>

「算数新教科書（6社）を5段階評価する----よりよい教科書が創られ選ばれるために----」

「チャータースクール」 鷓浦裕さん講演の報告集の送付について

昨年の地教連総会で行われた鷓浦裕さんの講演「チャータースクール」の報告集ができました。大変遅くなりましたが、会員の方には1部ずつ配布いたします。

なお、複数必要な方は、送料ご負担でお送りします。事務局までご連絡下さい。

2003年春の「経営」学習会と交流会の報告

2003年3月9日に静岡県裾野市のしっぷす・つつじが丘を会場に「経営問題」の学習会が開催されました。地教連からの参加は立花さん・町井さん夫妻・佐藤さん・矢沢の5名が、地元からはしっぷすの長田さん・根上さん・秦野市の卯埜（うの）さん・開成町の内田さん・沼津市の森田さん5名が参加しました。長田さんから、塾経営について自らの体験を通して日頃から感じていること話していただきました。長田さんの話の中で、特に印象に残ったことは「大手塾と差別化を図るためには、ひとりひとりの子どもに居心地がよい塾をめざす。教室環境向上に努めるだけでなく、電話・ミニレターなどで子どもの心をつかむことが大事」ということでした。日頃から様々な工夫を心がけ実践していることに塾経営をうまくおこなっている重要なポイントがあるように思われました。また、卯埜さんと内田さんからも自らの塾経営や授業で大事にしている点が多々話されました。夕方以降は、会場をホテルに移して、教育・塾・地域をめぐる様々な問題を自由に論議をし、交流を深めていきました。

今回初めて3月の学習会開催で、なおかつ宿泊ということもあり、各塾が募集などの忙しい折りで参加者が少なかったのは残念でした。

会費納入のお願い

地教連では会費が財源の大部分を占めています。ご協力をよろしく願います。

会費の払い込みは年度切り替えではなく、払い込みから1年間を有効とさせて頂いています。

振込先;郵便局の総合口座 記号10030 口座番号64626421 地域教育連絡協議会

郵便局の総合口座をお持ちの方はお近くの自動振り込み機械から手数料130円で振り込めます。

団体会費 10000円(専任職員が2人以上いる団体に適用)

個人会費 4000円

賛助会費 2000円

学生賛助会員 1000円

会費の納入のない方は、ニュース等の配付を停止させていただきます。

2002 - 2003年度方針を再録しておきましたので、参考にして下さい。

地教連活動の方向について

地教連の10年以上に及ぶ活動は、地域に根ざす塾の存在を広く社会に知らせてきました。その活動の中で、子どもたちの発達権利保障の問題やいわゆる居場所としての機能の問題などを明らかにしながら、地域塾の教育運動論を進めてきたことに積極的な意味があります。また、この活動を通じて、全国に点在している地域塾の仲間を結びつけるネットワークを充実させ、各地の実践の交流をすすめながらお互いの活動を励ましてきました。

ここ数年、上からの教育改革が進行するなかで、地教連運動も大きな転換点を迎えています。全国的にみると「教育NPO」のような新しい教育要求に応える取り組みがすすみ、そのつながりが大きくなりつつあります。

集団として実践に取り組んでいる比較的大きな塾では、今後の経営展望から新しい塾の枠組みを見つけていきたいという要求があります。特に今後の教育改革とのからみでは、公的な分野に絡んで、どのような展望をもち持ち得るのかを探るのが大きな課題です。

個人で営んでいる比較的小さな塾では、目の前の子どもの状況をともに語り合い、実践を点検していきたいという要求が強くなります。今後、「地域に根ざした塾として何ができるのか」などを語り合いながら、その展望を探るのが大きな課題です。

どちらにしても、全国的に広がっている会員が、集い語れる仕組みを作りだすとともに、要求をまとめ会員が集まれる企画を行っていきます。また、大小の区別なく塾としての現代的な課題、例えば「総合学習で生きる意味を共有させる広義学力の実践」「算数国英などの基礎学力獲得の実践の方法」などを深めて行く必要があります。

活動方針

地教連の活動のあり方について

前述の活動方向にもとづき、大きく二つに分けて活動を進めていきます。

A) これまでのつながりを有機的につなげるネットワーク機能を充実させて実践の交流をすすめていきます。特に前年からの課題である各塾や地教連のこれまでの実践をまとめ、作品化を進めて、HPなどにも公開し共有の財産として活用していきます。

B) 教育改革の動向も見極めながら、塾の役割の分析と今後の展望、特にチャータースクールの分野などでは塾が公教育に参入できる可能性もあります。他団体とも交流して情報を集め、分析もすすめ、会員に情報発信をしていきます。

これらにもとづき、新しい地教連の呼びかけやリーフをつくるようにします。

会員の学習・交流要求について

地教連運動のポイントは学習・交流活動です。体制をとっての地教連主催・共催の大きな会を3つおこないます。

それぞれの内容については、会員へのアンケートや常任委員会の論議をもとに決めていきます。

特に、今年度からは地教連参加団体や地教連と関係のある地域や団体が開催する学習会を地教連として後援し、積極的に関わるようにしていきます。

ぜひ、各地、各塾の情報をお寄せ下さい。

交流を活発にするため

これまで通りに、インターネットを利用しての交流をすすめていきます。

経営問題、授業実践問題など含めて、多様な問題を気軽に相談話し合えるように、活用の仕方を工夫しネットでのやりとりをすすめていきます。

事務局からの情報・通信を確実に届けるために、個人のメールの登録を進めていきます。

多様な要求別のサークル・研究会をすすめるために

各塾での取り組みなどを通信、MLなどに積極的に掲載していきます。

新入教員の学習サークル「つばーTSUBO」を援助します。

Bを進めるために常任委員会として「教育改革・政策研究会」をたちあげます。

地域の支部活動を位置づけ、応援します。

お互い近くの相談相手して地域ごとのつながりをつよめる取り組みを行っていきます。

補助金も活用し自主的な活動を応援します。

財政活動について

通信は経費削減のため、郵送からEメールに順次変更をしていきます。

会費請求もきちんとおこない会員の資格などもはっきりさせていきます。

年間の予算通りに決算を行える活動に変えていきます。

組織活動について

各集会や各地域での交流から会員を増やしていきます。特に、フリースクール・スペースなどの分野での取り組みを強めます。

また、教育に関心のある個人の方も会員として多く向かえていきます。

地 教 連 情 報

2003-5-17

学びをつくる会 第四回学習会のお知らせ

日時 2003年6月21日(土) 13:00～16:45(受付は12:45より)
場所 豊島区民センター (JR池袋駅東口徒歩3分 豊島公会堂隣り)
参加費 1000円(学生は500円)

全体講演

「子どもとつくる これからの学びと学校」

汐見 稔幸 氏(東京大学教育学部教授)

1947年 大阪府生れ。東京大学大学院教育学研究科・教育学部教授。

専門は教育学、子どもの発達的人間学(教育人間学) 特にことばと人間形成。

分科会

第1分科会

ひとつのテーマから広がる学び～小さな穴からいろいろなものが見えてくる～
渡辺克哉(渋谷区立臨川小)

第2分科会

“なりたい自分”探しを支える学力とは何か

～ひきこもる若者との対話を通して考えていること～

佐藤洋作(文化学習協同センター)

第3分科会

イラク戦争とメディア・リテラシー～時事問題を教室へ!・参加型授業の体験
本山明(葛飾区立本田中)

第4分科会

保健室で聞きとる子どもたちの声～子どもと学校の今を考える～

佐々木弘子(豊島区立真和中)

学びをつくる会のページをぜひご覧下さい。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~manabi/main.html>

子育て文化協同 首都圏の集い

秋に行われる子育て協同ちば集会の事前の打合せもかねて行われます。

日時: 6月7日(土)～8日(日)

宿泊: 静岡県中伊豆町 中伊豆荘(温泉国民宿舎)

修善寺駅より宿のマイクロバスで送迎

プログラム

7日: 14時30分～16時30分 - 中伊豆町のグリーンツーリズム活動の紹介

16時30分～17時30分 - 千葉子育て集会について

食事は中伊豆町の方々のソバとシイタケ料理、夜は交流会

8日: 中伊豆町のNPOとの交流や町内見学

昼食後解散

参加費: 約10000円

申し込み・問い合わせは学習センターの佐藤まで

子育て文化協同 ちば集会

一昨年は岐阜、昨年は大阪で開催された子育て・教育集会です。岐阜では地教連の分科会も開設しました。今年は千葉で開催されます。千葉県知事の堂本さんも集会にかんでもらう予定です。

日程: 11月29日～30日

場所: 千葉大学

以上

子育て文化協同についてのお問い合わせは先は

NPO文化学習協同ネットワーク 佐藤洋作

TEL-0422(47)8706, FAX-0422(47)8709

メール: center@npobunka.net

平塚眞樹さん(法政大学)の教育 NPO に関する論文

研究者でいつも地教連に協力を頂いている法政大学の平塚眞樹さんの新しい論文「市民による教育事業」と教育の公共
- 「行政改革」下における教育 NPO の形成に着目して -
が小冊子として数部、事務局に贈られました。この小冊子を先着順でおわけいたします。申し訳ありませんが、送料ご負担でお願いします。事務局までご連絡下さい。

経費節減、御協力をお願い

通信はなるべくEメールで送付したいと思います。アドレスをお待ちの方は、Yzwhiro@aol.comまで「地教連メール」と入れて下さい。団体の方は団体の職員の方にも配信をしますので、個人のメールアドレスもお知らせ下さい。経費削減のためにアドレスの登録をぜひお願いします。なお、アドレス登録された方は、郵便でのご連絡は割愛させていただきます。

地教連のメーリングリスト(ML)も運用しています。

MLに加入すると加入者相互に意見の交換などが容易にできます。また、地教連や各地の情報もリアルタイムで入手できるのでとても便利です。

加入希望の方は webmaster@tamagaku.com (多摩学習センター：地教連ホームページ担当)まで

各塾でHPをお持ちの場合、地教連HPで相互リンクを貼れます。相互リンクを貼ればアクセス数が伸びます。ぜひ、相互リンクを貼っていきましょう。なお、退会希望やニュースの配信が不要な方も、ご一報下さい。

地教連塾の実践報告のお願い

地教連では各塾のユニークな実践をまとめて本にしていきたいと思っています。以下の項目でお願いをいたしたいと思っています。

群：日頃の塾授業でオリジナル豊富な授業展開例を紹介しながら、塾生の学力について日夜研究している塾の方

群：夏休み・冬休み・春休みなどに特別講習を実践している塾の方

群：いわゆる「総合学習」にとりくみ、実践している塾の方

3つのグループのいずれかを選び、文書を提出していただきたいと考えております。この積み上げが、われわれ地教連の知的財産構築の第一歩になると思われ、何卒、ご協力の程お願いします。